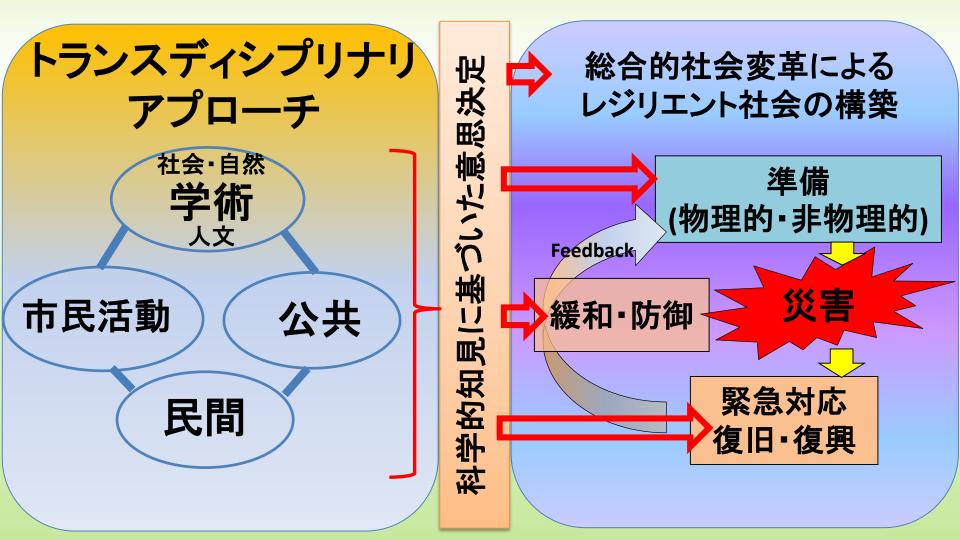


### ACECC TC21国内支援委員会 土木学会全国大会研究討論会 2017.9.11

# 分野・部門間協働による防災推進 のためのアジア諸国の協力

アジア土木学協会連合協議会第21技術委員会 社会の災害レジリエンス構築のための トランスディシプリナリ・アプローチ

# TC21 Transdisciplinary Approach for Building Societal Resilience to Disasters



Co-Design, Co-Produce, Co-Deliver, and Co-Implement



## ACECC

Since 1998

### The Asian Civil Engineering Coordinating Council

### アジア土木学協会連合協議会

1998年、意思決定者への政策提言のために結成された学界、官界、民間よりなる土木技術者の連合

- オーストラリア (EA)
- バングラデシュ (IEB)
- インド (IEI)
- インドネシア (HAKI)
- 日本 (JSCE)
- 韓国 (KSCE)
- モンゴル (MACE)

- ネパール (NEA)
- パキスタン (IEP)
- フィリピン (PICE)
- 台湾 (CICHE)
- アメリカ (ASCE)
- ベトナム (VIFCEA)



## ACECC

### The Asian Civil Engineering Coordinating Council

Initiated in Oct 2015 Launched in Aug 2016

## 技術委員会TC21 社会の災害レジリエンス構築のための トランスディシプリナリ・アプローチ

共同議長

竹内邦良(土木学会)山梨大学名誉教授 ロメオ S モモ (PICE)公共事業・高速道路省事務次官 メンバー

日本・フィリピン・フィリピン・インドネシア・ベトナム・台湾・モンゴル・ネパール・パキスタン・アメリカ・韓国

. . .

## TC21 のキックオフ 第7回ACECC総会(CECAR7) 2016年8月ハワイにて





共同議長 竹内教授・モモ次官 TC21 キックオフにて



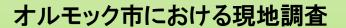
TC21 委員 インドネシア・台湾・アメリカ

## TC21 の現地調査 および国際シンポジウム 2016年11月フィリピン

Tacloban City
Palo Municipality
Ormoc City









TC21 委員 パキスタン、ネパール、インドネシア、日本



## TC21 の現地調査 および国際シンポジウム 2017年4月ネパール

2015年地震被災地調査



TC21 国際シンポジウム開催主要メンバー

## TC21の目的

- 社会の災害レジリエンスを構築するために
- 国および地域レベルでの
- 科学的知見に基づいた意思決定のための
- トランスディシプリナリー・アプローチを推 進する

# 災害強靭社会

部門間協働 少野.

科学的知見に基づいた 意思決定への

総合的社会変革

災害脆弱社会

# 科学的知見に基づいた意思決定

- 科学的知見が、
- 問題発見、目標設定、選択肢の設計・評価・選定、 実施、見直しに
- 根源的原因、政治・社会・経済的影響、環境・リスク 影響、持続性を考慮して、
- 中心的・系統的に利用される、
- 意思決定過程

- それは政治的バランス、一部の圧力団体の利益、指導者の思い付きや直感が決定を左右する意思決定過程ではない
- 科学的知見には、持続的、レジリエントで平和な社会を構築するための、最も利用可能な 先進的な科学的知識・技術のほか、伝統的知識、経験、知恵、情報、熟練技術等が含まれる

## トランスディシプリナリ・アプローチ

- •「分野•部門間協働」
- 社会的問題の解決のために、
- 関連するすべての学術分野、産業部門が、
- 共通の目標達成のために、参加・協力して 働き、
- それぞれの分野や部門の能力の限界を超えた創造的、革新的手法によって、
- 社会の総合的、変革的解決を可能にする 手法

# なぜトランスディシプリナリ?

- 科学的知見に基づく意思決定は社会のパラダイム シフトであり社会変革である
- 社会変革はトランスディシプリナリでしか実現できない
- 意思決定の透明性はトランスディシプリナリでしか 確保できない
- 革新的解決法に向けた飛躍·効果的実践へのシナ ジーはトランスディシプリナリでしか生まれない

# 知の流れ

- 様々なレベルの意思決定の場に、必要に応じた、最 も実用的で有用な科学的知見を届け、利用可能と するシステム
- それを支える、知の生産・蓄積・利用者同士並びに 生産・蓄積者と知の利用者をつなぐ、また利用を支 援するネットワーク
- このような仕組みを実現するためには、必要な知見を、公開性を保って、交換・取得・配信・普及を担保する、制度と予算に裏打ちされたインフラが必要である

## 分野・部門間協働による防災推進のための アジア諸国の協力

- 13:15-13:30 治水事業への協働体制の構築:途上国支援の事例 JICA 石渡幹夫
- 13:30-13:45 西原村の取組〜地域コミュニティと防災〜 熊本県西原村 倉田英之
- 13:45-14:00 熊本地震対応及びSATREPSマレーシアの事例 防災科学技術研究所 酒井直樹
- 14:00-14:15 公共事業の意思形成過程における関係者の関わり 国土交通省総合政策局 天野雄介
- 14:15-15:30 建設コンサルタントの知的生産構造
  - 建設技術研究所 天野光歩
- 14:30-14:45 専門化の進んだ現代社会に不可欠な学術連携 防災学術連携体 和田章
- 14:45-15:00 全体討議とまとめ TC21 竹内邦良



#### Multidisciplinary

Good dish needs various materials and ingredients such as meat, vegetables, spices, drink,

#### **Interdisciplinary**

Good cooking needs good materials, cook, pans, cook books,

#### **Transdisciplinary**

Good dinner party needs meals, waiters, partners, music, talks, interior design, Co-design, co-produce, co-deliver,

